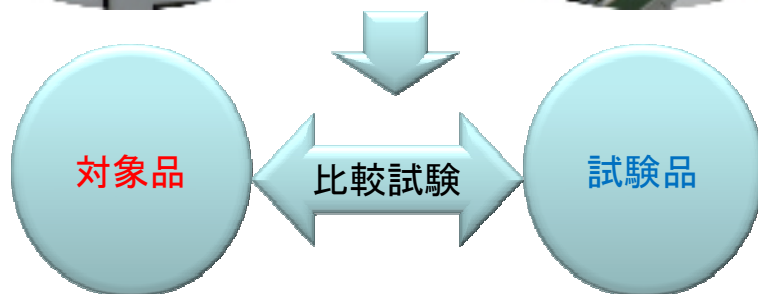




におい(異臭)の分析

理化学的な手法では難しいといわれていた「におい」の分析について、弊会では、機器等を整備し、理化学的な分析による客観的評価が可能となりました。

多機能オートサンプラ(ヘッドスペースサンプラ)付きガスクロマトグラフ質量分析装置



ご提供された対象品と試験品からそれぞれ「におい」の要素となる揮発性成分を抽出・測定し、対象品と異なる成分を検索します。

報告書
イメージ

第 12-C-00-00 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

依頼者 ○○○○○○○○○○○○ 殿

一般財団法人 日本穀物検定協会
中央研究所
千葉県市川市新井2-17-3

平成〇〇年〇〇月〇〇日に当センターへ提出された下記供試品について、分析試験した結果は次のとおりです。

記

供試品 : ① A ② B ※対象品

分析試験結果 :

供試品2検体の香気成分の比較を行ったところAに特徴的な物質として○○○○○を推定した。さらに、○○○○○の標準品を用いてピーク保持時間とマススペクトルを確認した。その結果、2検体に差のある物質は○○○○○と同一した。

この物質の化学名は●●●●●●●●で、一般的に△△△△△△、□□□様の香りを持つ化合物であり、主に発酵食品の香気成分として含まれる。

以上